強みを伸ばす事に集中して、適応すべき理由

高校生の時、私は現地の生徒と全世界から留学生が集まった、米国の全寮制高校に入学しました。留学生の中での成績は私が下位の方であり、特に理数系ではボロ負けしていて、２個下のパナマ人のクソガキに「僕が見て来た中でお前は最も頭が悪いアジア人だ」と言われた事は今でも深く心に刻まれています。

そこで、苦手な理数系の点数を上げようとして、実際に上がりましたが、理数系を得意としている留学生の子達には敵いませんでした。

しかし、元々帰国子女であった私は留学生の多くよりも英語が出来た上、文系要素が絡む英語、プレゼン、ライティング系のクラスでは理数系では敵わなかった彼らよりも、良い成績を残す事が出来たのです。

だから、私は自分が得意な事、自分の強みを伸ばす事に集中しました。そして、理数系は単位を貰える、ギリギリの成績になるようにしか勉強せずに。

大学に入っても同様、自分の強みを伸ばせるクラスを取り、グループワークでも自分が得意な事を率先してやると言う風に。

なぜ、自分の強みに集中して伸ばす事が大事なのか？

それは生き残る方法だからです。

分業制、国内外への外注、ロボットの台頭などが勢いを増している昨今、何かしら強みが無い人へ回される仕事は少なくなって来ているのです。

今後、生き残る人材は３タイプと言われています。

１．難しい機械を取り扱える人（プログラマー、統計学者、ロボット開発者など）

２．何かに投資出来る莫大な資金を持つ人（投資家、ベンチャーキャピタルなど）

３、何かの分野のスター

何かの分野のスターと言うのが、強みを伸ばした人間の究極の姿です。

私の強みは、論理的思考能力、ライティング力、プレゼン力、英語力、指導力、率直に意見を述べる事、周りの目を気にしない事、上下関係やルールに縛られない事などだと思っていまして、それを活かせるのが、今、私が行っているライフチョップス、そしてこれからライフチョップスが発展するであろう姿にも強みを活かせると思っているわけです。

今も語り継がれる２００５年、スティーブ・ジョブズ氏のスタンフォード大学卒業式スピーチ。そこで、ジョブズ氏は「情熱を持てる事をやれ。無いなら探せと言いました」しかし、死に際にこの発言を撤回したのはあまり知られていません。

大事なのは、自分の強みを活かせる仕事をする事。強みを活かせれば、情熱が持てる。強みを活かせるのなら、成果を残せる。成果を残せるのなら、誰かに価値を与えられる。社会に還元する事が大事とジョブズ氏は言い放ち、この世から去ったそうです。

あなたの強みは何ですか？